

“市民と行政の架け橋”

行政相談委員という仕事



真見 敬 (さなみ けい)

平成21年より行政相談委員(国立市担当)。“地域の皆さんの身近な相談相手”として、行政に関する相談に応じて解決のための助言や関係機関に対する改善の申し入れなどを行っています。

行政相談委員についてたきかけを教えてください。

自身の事業を開業して5年が経過し事業も安定してきたところで、何か地域のためにできることはないかと思っていました。ちょうど以前から知り合いであった前任の行政相談委員の方から、20年以上委員を続けたので交代してもらえないかとお声をかけていただきました。それが大きなきっかけとなりました。

行政相談委員について教えてください。

行政相談委員は、総務省より委嘱を受け各市区町村に配置され、市民の方から国や機関に対しての意見、苦情、要望をお聞きし、相談者への助言や関係機関に対する改善の申し入れなどを行っています。“行政をめぐる多様なご相談を地域の皆さんの身近な相談相手”として、行政相談委員は活動をしています。

国立市では第4木曜日に市役所の相談室で定例相談会を開催しています。その他にも消費生活展などのイベントの際にブース出展して臨時の相談会を開催することもあります。その他、行政相談制度の普及のために市内小学校にて出前授業を行なったこともあります。

活動している中で意識している事はありますか。

一刻も早く解決してほしい問題を抱えて相談にいらつしやる市民の方に最善の解決方法をできるだけ早く導き出せるように心がけています。

また、この行政相談制度自体がまだまだ市民の方々に浸透していませんので制度の存在を広くアピールするように努めています。

活動を通して印象に残っている事を教えてください。

相談者の方から伺った事案に対応し解決できた際に、お礼を言うために翌月の定例相談日に相談室に来ていただいたことがあります。役所がなかなか動いてくれないというようなことがあった時に、泣き寝入りしてしまうこともあるかと思いますが、私に相談いただいたことで解決し、お役に立ててよかったですと感じた瞬間でした。

また、行政相談制度普及のために市内小学校で出前授業を行ったときには、1回の開催が小学生の間で大変好評で2回目の開催が実現したなど、子どもたちが「行政について」関心を持ち、知るきっかけづくりができたことも印象に残っています。

最後に一言お願いします。

国立市には3名の行政相談委員が配置され、定例相談会を中心に活動しています。行政相談委員同士もコミュニケーションと情報共有を重ね、相談に乗る準備をしています。国や機関に対する困りごとや意見などがありましたらご遠慮なく相談ください。

今後とも国立市民の皆さんの生活のお役に立てるように活動をいたしますので引き続きよろしく願いいたします。

◀「消費生活展」

行政相談委員出展ブース

左から1番目が真見氏

